

市内各地で産業まつりなど開催

秋の物産イベント

暑い夏を乗り越え、迎えた収穫の秋。10月20日から28日にかけて、市内で物産イベントが開催されました。各会場とも多くの来場者でにぎわい、さまざまな催しや、秋の味覚に喜びの表情を浮かべていました。

第24回奥州水沢グルメまつり



1

第27回江刺産業まつり



4



3



2

第47回水沢産業まつり



5

奥州前沢文化と産業まつり



6

1 ことしも名物「日本一・ジャンボ鉄鍋」で芋の子汁の振る舞い 2 はつとの無料振る舞いでは「ゆるキャラ・はつとくん」をお披露目 3 展示・即売・食堂コーナーは約100店舗が出店 4 毎年恒例の三輪車レース。白熱した戦いに観客も興奮 5 姉妹都市厚真町の特産品コーナーに長蛇の列 6 子どもたちは高所作業車で試乗して歓喜の声 7 歌謡ショーではたくさんの観客がうっとり聞き入りました 8 地元の物産販売コーナーもにぎわいました

第11回衣川まるごと市場



8



7

後藤寿庵福原就封400年記念公演

奥州◆市民劇

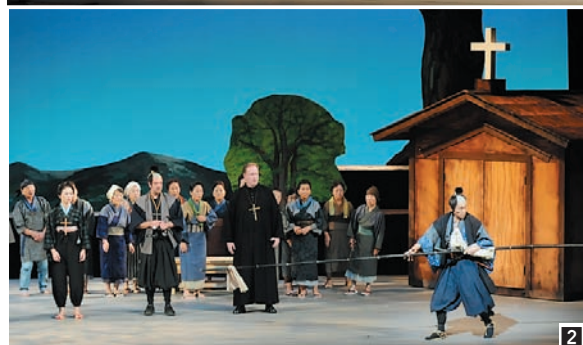
後藤寿庵物語

木洩れ日のように

「奥州◆市民劇」後藤寿庵物語「木洩れ日のように」が10月14日、15日の両日、市文化会館で上演されました。初日は一般を対象に1回、2日目は市内小学校高学年も招待し、2回の公演が行われました。2日間で約3200人の観客が感動の舞台を楽しみました。

この市民劇は、江戸時代に水沢区福原に就封し、胆沢平野の水路開削に情熱を注いだ領主、後藤寿庵を題材にしたもの。キリシタンであり寡黙な性格だったという寿庵。せりふのない主人公という大胆な演出でした。

今回は、地元の人たちも多数出演。多くの人に愛された寿庵の人柄と、その偉業に触れた観客は、惜しめない拍手を送っていました。



はせくら つねなが
1 支倉常長を介して伊達政宗に仕えることになり、政宗に接見する寿庵 **2** 福原の領主として就封した後は、教会に集まる人たちに目もくれず水路の開削工事に奔走 **3** ローマ教皇に宛てた信仰を誓う奉答文に筆頭署名 **4** 福原を去ることを決意した寿庵は最後のクリスマスのミサに参加 **5** 涙ながらに寿庵を引き留めようとする石母田大膳の妻・幸 **6** 木洩れ日から寿庵の面影を感じ、思いを馳せる福原の人たち

